

1 単元名 体づくり運動（多様な動きをつくる運動）

2 目標

進んで運動に取り組み，きまりを守って友達と一緒に運動したり，場や用具の安全に気を付けて運動しようとする。 (関心・意欲・態度)

多様な動きをつくる運動の行い方が分かり，友達のよい動きを見付け，自分の運動に取り入れたり，楽しく運動できる行い方を選んだりすることができる。 (思考・判断)

バランスをとりながら移動したり，力を試す動きができる。さらにそれらを組み合わせる運動ができる。 (技能)

3 単元設定の理由

本単元の多様な動きをつくる運動は，様々な体の基本的な動きを培っていくものである。ここでは，低学年で体験した「体のバランスや移動」，「用具の操作」などの遊びの中から味わった楽しさを基に，「力試しの運動」を加え，四つの運動を組み合わせている。

中学年児童は，心に自我が芽生える時期である。一般的には身体面では，低学年以上に活発に体を動かすようになり，人間関係においても，友達とのつながりを重要視し，集団で行動するようになる。また，自分の考えをもち，相手に伝えたり，行動したりできるようになり，好奇心から多くの知識を得ようとする時期でもある。

そこで，児童にとって興味・関心を高めるような教材を設定し，「動き方」，「動きの構造やコツ」について思考・判断しながら動きを習得していく。さらに運動を通して習得した知識をもとに「動き方」，「動きの構造やコツ」について，気付いたことを話し合う活動を通して，論理的思考力をはぐくめるとともに「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成」が図られると考え，本主題を設定した。

4 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
学具 習体 活の 動評 に価 お規 け準 る	いろいろな運動に進んで取り組もうとする。 根気強く，繰り返し 順番やきまりを守るようにする。 進んで友達と互いに励まし合ったり，動きを見合ったりしようとする。 用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとする。 用具やスペースなどの身の回りの安全に，常に気を付けようとする。	運動の行い方を理解している。 観察した情報から 多様な動きをつくる運動を選んでいる。 友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れている。 観察した情報から なめらかな動きや運動のコツを分かっている。 カードなどで学習を振り返っている。	体のバランスをとる運動（姿勢を変えて回る，寝ころぶ，起きるなど） や体を移動する運動（速さ・リズム・方向を変えてはう，歩く，走る，跳ぶなど），用具を操作する運動（つかむ，持つ，回すなど），力試しの運動（押す，引く，運ぶ，支るなど）が安定してできる。 相手の動きに応じて，二つ以上の動きを同時や連続してなめらかに行うことができる。

は十分満足できる状況

5 指導と評価計画（6時間扱い）（男子*名，女子*名，計*名）

	学習のねらい・活動	評価計画						
		関	思	技				
はじめ × 1	<p>運動の特性や学習のねらい，計画，内容を理解する。 多様な動きをつくる運動の学習準備をする。</p> <p>1 学習のねらいと道筋を理解し，学習の進め方について知る。 ・単元の学習の流れや1時間の学習の進め方 ・学習カードの使い方 ・グルーピング，役割分担の確認 ・課題解決や協力の仕方</p> <p>2 体ほぐしの運動をする。 3 動きづくりをする。 4 学習を振り返る。</p>							
なか 1 × 2	<p>ねらい 運動を楽しみながら，多様な動きの感覚を味わう。</p> <p>1 学習のねらいを確認する。 2 体ほぐしの運動をする。 3 動きをつくる。（3人組）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;"><なか1-1> バランス</td> <td style="width:50%; text-align: center;"><なか1-2> ストロング</td> </tr> <tr> <td>バランスをとりながら移動する運動をする。 A ゴロリンコース B ピョンピョンコース</td> <td>体を支えながら移動する運動をする C 動物の動きコース D 力比べコース</td> </tr> </table> <p>4 友達の動きを見せ合う。 5 学習を振り返る。（学習カードに記入・自分のめあての確認） 6 整理運動・片付けをする。</p>	<なか1-1> バランス	<なか1-2> ストロング	バランスをとりながら移動する運動をする。 A ゴロリンコース B ピョンピョンコース	体を支えながら移動する運動をする C 動物の動きコース D 力比べコース			
<なか1-1> バランス	<なか1-2> ストロング							
バランスをとりながら移動する運動をする。 A ゴロリンコース B ピョンピョンコース	体を支えながら移動する運動をする C 動物の動きコース D 力比べコース							
なか 2 × 2	<p>ねらい 自分の課題をもって運動に取り組み，選んだコースの運動を楽しむ。</p> <p>1 学習のねらいを確認する。（3人組で各自のめあてを確認する。） 2 場の確認をし，体ほぐし ・準備運動をする。 3 グループで選んだコースの運動を行う。（AまたはB） 4 運動のコツについて話し合い，全体の場で交流する。 5 グループで選んだコースの運動を行う。（CまたはD） 6 運動のコツについて話し合い，全体の場で交流する。 7 学習を振り返る。（学習カードに記入・自分のめあての確認） 8 整理運動・片付けをする。</p>							
まとめ × 1	<p>ねらい 自分たちで考えた運動を楽しむ。</p> <p>1 学習のねらいを確認する。（自分たちで考えた運動を行う。） 2 場の確認をし，体ほぐしを取り入れながら準備運動をする。 3 自分たちで考えた運動を楽しむ。 ・工夫した運動 ・人数を増やして 4 工夫した運動を紹介する。 5 学習を振り返る。（学習カードに記入・自分のめあての確認） 6 整理運動・片付けをする。</p>							

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

既習の動きをもとに練習方法のコツを考えたり，見付けたりすることができる。（思考・判断）
基本的な動きを身に付け，バランスを取りながら体を滑らかに移動したり力を試す動きができる。
（運動の技能）

(2)展開 (5 / 6)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 5分	1 場づくりや安全確認をして、整列、あいさつをする 2 本時のねらいをつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 友達のよい動きを見付けながら、なめらかな動きを身に付けよう。 </div> 3 体ほぐしを取り入れた準備運動をする。 ・ストレッチング ・セブンジャンプス	・身じたくの確認と健康観察を行う。 ・運動する場所を確認させ、安全の確保と学習のスムーズな展開を意識付ける。 ・楽しみながら体が温められるよう体ほぐし運動を取り入れる。	
なか 30分	4 4人組で選んだ運動を行う。 (1) 一つ目のコースの運動に挑戦する。 ・めあてカードで自分とグループの友だちのめあてを確認する。 <バランスコース> A ゴロリンコース B ピョンピョンコース <ストロングコース> C 動物の動きコース D 力比べコース ・4人組になり、お互いの動きを見合いコツを見付け、アドバイスされたことを試してみる。 (2) 運動のコツを紹介し、交流する。 (3) 二つ目のコースの運動に挑戦する。 ・めあてカードで自分とグループの友だちのめあてを確認する。 ・4人組になり、お互いの動きを見合いコツを見付け、アドバイスされたことを試してみる。	・前時までの学習をふり返り、1人ひとりが具体的なめあてをもって取り組めるようにめあてカードで確認する。 ・2コース4か所の運動の場で自分のめあてに合った運動を選んで取り組めるように、学びの筋道を記したカードをそれぞれの場に用意する。 ・運動を行う順番やルールを確認したり、ぶつからないスペースを確保するなど安全面に十分配慮する。 ・友達とかかわり合えるように、友達に自分の動きを判定してもらう機会を設けたり、友達の動きを見るように声をかけたりする。 友達の動きのよさを見付けることができるように随時よい動きを賞賛する。 ・全体の場で交流がしやすいように、同じコースの運動グループで話し合い、友だちのよい動きをアドバイスボードに書き込むように助言する。 どのような体の使い方がよいかの発問を工夫しながら運動のコツを共有化し、後半の運動への意欲化を図る。 ・自分のめあてに対してしっかり運動に取り組んでいる子どもを賞賛する。	<関・意・態 > ・友達と互いに励まし合ったり、見合ったりしようとする。 (学習時の観察) <思考・判断 > ・友達のよい動きを見付け、自分の運動に取り入れている。(学習時の観察・学習カード) <運動の技能 > ・相手の動きに応じて、二つ以上の動きを同時や連続してなめらかに行うことができる。 (学習時の観察)
まとめ 10分	5 学習を振り返る。 ・ふり返りカードに本時の反省を記録する。 ・全体で学習をふり返り、次時の予告をする 6 整理運動・片付けをする。	・ふり返りカードに、本時のふり返りを記入し、全体の場で発表し合い、みんなで友達のがんばりを賞賛する。 ・どうしたらできるようになるのかをみんなで考え、動きのイメージを共有化させる。 ・あらかじめ役割分担をしておき、短時間で片付けができるようにする。	

は努力を要する状況にある児童への手立て